

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆文	隸書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
夢	ム ゆめ くらい								王勃詩序
夢	②								
夢									
大	タイ ダイ おお おおいに おおきい								王勃詩序
太	クタイ といふ はなはだ								王勃詩序
泰	タイ おごる やすい								光明皇后
天	テン あま あめ								王勃詩序

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
夢												干禄<俗> 現代中国
夢												
夢												
大												大 現代中国
大												
太												太 現代中国
泰												泰 干禄<俗> 現代中国
天												天 天
天												
天												
天												

【夢】干禄字書の〈俗〉と〈正〉は字体の違いというよりも、筆遣いと筆順の違いだけのように見える。康熙字典では「夢」と「夢」は俗字として別の部首に出ている。「夢」の使用例は少ないが、漱石は一貫して「夢」を書いている。現代中国は「夢」を採用している。集字聖教序の字体は行書と草書の

どちらにするか迷う。  
【大】泰山刻石の字体は説文篆文と異なり、説文籀文に近い。泰山刻石が小篆とすれば説文篆文は大篆か。  
【太】元は「太」は「泰」の古文だという。  
【天】泰山刻石と説文篆文の字体が異なる。